



施設紹介
岐阜メイツ
睡眠障害治療クリニック
 国内最大規模の設備とスタッフで
 あらゆる睡眠障害に対応



前列中央が田中春仁先生

患者さんの特徴

「岐阜メイツ睡眠障害治療クリニック」は11名の検査技師と16の検査病室を擁する国内有数のスリープセンターで、2008年9月の開設以来2000名を超える終夜睡眠ポリグラフ(PSG)検査を実施している。他にも反復睡眠潜時検査(MSLT)などあらゆる検査に対応し、高照度光治療室での入院治療も可能。毎月約800名の受診者のうち睡眠時無呼吸症候群(SAS)が7~8割、次いで不眠症、概日リズム障害、レストレスレッグス症候群など多様な睡眠障害の患者さんが来院している。

診療の工夫

呼吸器関連の診療に長く携わってこられた院長の田中春仁先生は「PSGによるSASの診断を通じて、客観的なデータに基づく睡眠医療の大きな可能性に気がきました。また、“うつ病”疑いの患者さんでSASの治療をしたところ抑うつ症状が大幅に改善された方が何人もおり、これまで経験したことがないような治療成果を目の当たりにして睡眠医療にいっそう深入りしています(笑)」とのこと。田中先生は「不眠症の認知行動療法(CBT-I)」の研修会(国立精神・神経医療研究センター)にも参加し、薬物療法とは異なる新たな不眠症治療の手法を2010年夏から本格的に取り入れている。

注目のポイント

院内すべてのPCからPSGの検査結果や録画映像にもアクセスできるため患者さんへの説明もスムーズ。患者さんに提出する「PSG報告書」には、睡眠段階の推移を示すグラフや正常値と比較した検査結果、検査中の技師の対応状況などが数ページに渡って記載され、しかもその内容は「診断や解析に誤りがないか、誤字脱字はないか」といった点まで、全員参加のPSG検討会で確認されている。検討会はスタッフの技能向上だけでなく、患者さんからの声を共有して診療に生かす「チーム医療」の要としても機能しているようだ。

今後に向けて

クリニックではJR東海(豊橋メイツ睡眠障害治療クリニックとの共同委託)や大手運送会社などから企業検診を委託され、従業員の健康と公共輸送の安全に寄与している。2011年からは検査体制のさらなる充実に向けて3名のスタッフを増員予定だ。また近隣中学校からの見学受け入れや周辺医療機関との検査協力など多様な地域貢献の進展も注目される。



岐阜メイツ睡眠障害治療クリニックのホームページ



モニタールームはスタッフ11名が座っても余裕の広さ



くつろいだ雰囲気の中でのCBT-I専用室

次号予告 ● 医師の疑問に答える：睡眠はQOLとどのように関係しているか



睡眠導入剤(プロチゾラム口腔内崩壊錠)
 向精神薬 | 習慣性医薬品^{※1)} | 処方せん医薬品^{※2)}



レンドルミン® D 錠 0.25mg

Lendormin® D Tablets 0.25mg (プロチゾラム製剤)

注1) 注意—習慣性あり、注2) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

※効能・効果、用法・用量、および禁忌を含む使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

薬価基準記載



製造販売
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
 〒141-6017 東京都品川区大崎2丁目1番1号

資料請求先: DIセンター
 〒141-6017 東京都品川区大崎2丁目1番1号 ThinkPark Tower
 ☎0120-189-779 (受付時間: 9:00~18:00 土・日・祝日・弊社休業日を除く)

2009年6月作成

000000 LEN-000-0000